

単元名 文字の組み立て方(左右)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化を理解し、文字の組み立て方に気を付けて書くことができる。
 (2) 文字の組み立て方に気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。
 (3) 文字の組み立て方に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

04020201_001

【教材名】『林』（毛筆）（P. 30～P. 31）

【準備等】水書板，電子黒板，練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「へん」と「つくり」の組み立て方に気を付けて、『林』を書く。 ★「へん」と「つくり」の組み立て方に気を付けて書こう ○硬筆と毛筆で『林』を試し書きし，課題をつかむ。</p> <p>○試し書きと教材文字を比較して，気付いたことを話し合う。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。 ○試し書きと比べて評価する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きをする。</p> <p>○『橋』『羽根』を硬筆で書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆は，教科書P. 31の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・左右の文字の組み立てできていることを伝える。 ・教科書の文字を見ながら，『木』が「きへん」になると，幅と点画の形がどう変わるか考え，話し合うように助言する。 ・幅を狭くするために，形が変化していることを理解できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ①「横画」は右上がり ②一画目と二画目の交わる位置 ③「右払い」が「止め」になる <p>【評】話し合いの様子や作品を通して，文字の組み立て方に対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へん」と「つくり」の幅のとり方に気を付けて練習させる。 ・自分の課題に合った練習用紙を選んで練習できるようにする。 <p>【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へん」の幅と形に気を付けて書かせる。 ・試し書きと比べ，基準の達成を確かめさせる <p>【評】作品や自己評価を通して，「へん」と「つくり」の組み立て方や自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 31の「まとめ書き」の欄を活用させる。 <p>【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へん」と「つくり」の幅と形がどうなっているかを考えて書くように助言する。 ・左右の組み立ての文字を探して書かせる。

【 備 考 】